

## 電波適正利用推進員協議会の ファミリー電波教室 表彰される

JA3AA 島伊三治

当クラブが、第1回の実施から会場準備、参加者募集、講師派遣、その他諸々の全面協力を行って参りました大阪府電波適正利用推進員協議会の「ファミリー電波教室」が平成15年度「電波の日」に近畿総合通信局長から表彰を受けました。クリーンな電波環境の必要性について周知啓発活動を行うとともに、全国に先駆けて「ファミリー電波教室」を開催し青少



年の電波の知識の普及に取り組み電波の適正利用の推進に多大な貢献をした。というのが功績として表彰されました。

「ファミリー電波教室」は、大阪府では開催回数が11回を超え、近畿圏はもとより全国的にも拡がりつつあります。我々のクラブがお



手伝ったことが、このような形で認められたことは非常に嬉しいことと皆さまにご報告致しますとともに、ご協力にお礼を申し上げます。



## 台湾、ベトナムで和文 CW 運用

JP3AZA 河田 至弘

### 第2回ベトナムからの運用

国際交流センターラジオクラブのJA3DYU及びJP3AZAを含む和文CW愛好グループの5名(他にJA9BV, JE5QAQ, JA2TG)は寄港地台湾の台北市を後にして3月11日

から17日までベトナム中部のホイアンから和文CW中心の運用を行いました。和



文CWについては、ベトナムで発給された免許状に国際電気通信条約に基づいてこの免許状を発給したとの文言があり、免許状には禁止事項も無かったので同条約に明記されているQOD6(日本語)が使用できるとの判断で運用に入りました。今回の運用予定地はベトナム中部ダナン近郊のホイアンと言うところで、サイゴンから北約1000kmのところ

に位置しています。折角1000km近くも移動するのだから飛行機を使うより鉄道で移動してはとの話から、サイゴンからホイアン近くの特急停車駅ダナンまでベトナム国鉄最新鋭の寝台特急に乗って17時間の移動となりました。列車では現地老人と相席になり、いろいろしゃべってみましたが何を

言っても通じないので諦めかけていたところ、何と無しに書いた漢字に反応があり、筆談開始となりました。フランスがベトナムを植民地にして漢字を追放するまではベトナムは漢字の国だったのです。おかげで急速に親しくなり、お爺さんの年

は80歳、行く先はダナンでサイゴンまでの買出しに行ってきた等など話しがはずみ、ダナンまでの旅

も楽しいものになりました。そう言う目で見るといたるところに漢字が残っていて目的地のホイアンも漢字



では「会安」と書くと言うことがわかりました。また、ベトナム中部の都市ダナン、ホイアンはベトナム戦争当時の激戦地でいまだに民家の壁などに焼け焦げ等激戦の跡が残っていました。宿泊したホイアンのホテルは目の前が海岸でしかもJA方向に開けている絶好のロケーションのところ

です。このホテルにはホームページがありますのでご覧下さい。

(<http://www.hoiantourist.com/>)

建設するアンテナは全バンド

ダイポールなので約半日程度でQRVが可能となりましたが、運用開始してみると、噂には聞いていました

が熱帯地方独特の

トロピカルノイズが凄いのにはびっくりしました。特にローバンドのノイズは凄くて常時S8位のレベルで出ていて、3.5MHzバンドの運用では、ベトナムからの信号は良く飛んでいたとおもわれますが、DX局からの信号は数多くの局が呼んでくれているのは判ったのですが弱い信号はコールサインも取れない状況で、このノイズを超えるくらいの強力な信号の局としかQSO出来なかったのが現状です。その後の運用から日本時間の午前2時ころになると

若干ノイズは減少し3.5MHzでは数多くのJA局とQSOすることが出来ました。しかし周波数が高くなるにつれてノイズは減少して21MHzあたりではJAで聞いた感じと殆ど変わらないように思われまし

た。東南アジアの局がハイバンドによくでているのはこう言ったノイズのせいだったのでしょうか。約1週間のベトナムでの運用は順調に終了し、和文CWでは殆どのお馴染みさんとQSOすることが出来ました。結果として合計約750局とのCW,SSBによるQSOとなりました。QSO頂いた各局には厚く御礼申し上げます。また、特にローバンドではお呼び頂きながら強烈なトロピカルノイズのためどうしてもコールサインが取れずQSO出来なかった各局には悪しからずご了承下さいますようお願いいたします。加えて、現地在住のJA9BV 亀山さんのお嬢さん圭子さんとご主人のミンさんには切符の手配から通訳までお願いし、お陰で終始快適なベトナムでの運用が出来ました。厚く御礼申し上げます。又、機会があれば再度和文CWでの運用を行いたいと思っています。



## 出会いの不思議

JA3UB 三好 二郎

それはアイハウス発足前のこと当時の大阪外事監井関氏から市制100周年記念事業の一つとして大阪外大跡地に「大阪国際交流センター」を設立するとの話がありXPO'70のサンフランシスコでやったようなアマチュア局を設置するのはその設立趣旨にも合致すると考えているとのことでした。1980年代の半ばに私の所属するUNICEFハムクラブの活動

の一環として九州から北海道まで移動運用を計画行いました。ある日、大阪狭

山市で移動運用中に、その様子を熱心に見学している人がいて午後になって再び顔を見せたので、シャイな私も声をかけたところ、この人は「大阪市に勤務して今度建設する大阪国際交流センターに出向、アマチュア無線に興味を持って既に無線従事者の免許は持っているが未だ開局していない云々」、その後話が弾んだのは言うまでもありません。その彼こそJO3LZG、アイハウスラジオクラブ創立の功労者、下津さんであります。一期一会はアマチュア無線の世界にもあって、本当に縁は異なるものの味なものです。

た。東南アジアの局がハイバンドによくでているのはこう言ったノイズのせいだったのでしょうか。約1週間のベトナムでの運用は順調に終了し、和文CWでは殆どのお馴染みさんとQSOすることが出来ました。結果として合計約750局とのCW,SSBによるQSOとなりました。QSO頂いた各局には厚く御礼申し上げます。また、特にローバンドではお呼び頂きながら強烈なトロピカルノイズのためどうしてもコールサインが取れずQSO出来なかった各局には悪しからずご了承下さいますようお願いいたします。加えて、現地在住のJA9BV 亀山さんのお嬢さん圭子さんとご主人のミンさんには切符の手配から通訳までお願いし、お陰で終始快適なベトナムでの運用が出来ました。厚く御礼申し上げます。又、機会があれば再度和文CWでの運用を行いたいと思っています。



左側に立っている人が下津さん

た。東南アジアの局がハイバンドによくでているのはこう言ったノイズのせいだったのでしょうか。約1週間のベトナムでの運用は順調に終了し、和文CWでは殆どのお馴染みさんとQSOすることが出来ました。結果として合計約750局とのCW,SSBによるQSOとなりました。QSO頂いた各局には厚く御礼申し上げます。また、特にローバンドではお呼び頂きながら強烈なトロピカルノイズのためどうしてもコールサインが取れずQSO出来なかった各局には悪しからずご了承下さいますようお願いいたします。加えて、現地在住のJA9BV 亀山さんのお嬢さん圭子さんとご主人のミンさんには切符の手配から通訳までお願いし、お陰で終始快適なベトナムでの運用が出来ました。厚く御礼申し上げます。又、機会があれば再度和文CWでの運用を行いたいと思っています。



た。東南アジアの局がハイバンドによくでているのはこう言ったノイズのせいだったのでしょうか。約1週間のベトナムでの運用は順調に終了し、和文CWでは殆どのお馴染みさんとQSOすることが出来ました。結果として合計約750局とのCW,SSBによるQSOとなりました。QSO頂いた各局には厚く御礼申し上げます。また、特にローバンドではお呼び頂きながら強烈なトロピカルノイズのためどうしてもコールサインが取れずQSO出来なかった各局には悪しからずご了承下さいますようお願いいたします。加えて、現地在住のJA9BV 亀山さんのお嬢さん圭子さんとご主人のミンさんには切符の手配から通訳までお願いし、お陰で終始快適なベトナムでの運用が出来ました。厚く御礼申し上げます。又、機会があれば再度和文CWでの運用を行いたいと思っています。

# J13ZAG RBBS

JA3PYC 山本 哲夫

凄い! わずか6時間でイギリスからメールが来た。まだインターネットで自由にメールが出せない時代での話です。今では、よっぽどのが無い限りインターネットメールを使用しますが、無線のネット網も健在です。RBBSは、文字通り Radio Bulletin Board System です。世界各地に点在するRBBSで書き込まれた書き込みを、ファイルとしてインターネットの助けを借りながら無線で転送し合っています。勿論、個人宛のメールも扱っています。

現在のJ13ZAG RBBSは、主に、フィリピン、インドネシアのパケット通信に興味のある人向けのサービスを行っています。日本では、V、UHF帯で簡単にパケット通信の実験が出来ますが、海外ではなかなかこのようには行きません。J13ZAGでは、このような海外局向けのHF帯でのサービスを行っています。このHF帯でのサービスを行っている日本の局は、今ではわずか2局となっていました。

現在のJ13ZAG RBBSの構成は次の表の通りです。但し、HF1はファイルサイズ8kバイトまで、HF2は4kバイトまで、HF3はメールのみです。混雑緩和のためにこのような転送制限を行っています。

主なファイルの流れは、インターネット経由で7M3TJZ局からJA3PYC局に転送されて来たファイルを1298.66MHz(1200bps)でJ13ZAGが受け、それを、21.1011MHz(300bps)で、フィリピン、インドネシアの各局へ送っています。

転送するファイルの数は、月に2000個程度で、最盛期の1/3に減ってきています。日本向けのファイルは、この内の約20%です。

将来はインターネットへ接続し、無線の届かないJ13ZAGメンバーの方でも自由にRBBSへアクセスできるようにしたいと思っています。そのための固定IPアドレス、ドメインネームは取得済みです。最後になりましたが、これまでJ13ZAG RBBSを維持して下さったJA3DAU 小川さん、JS3AEV 石井田さん、JK3IYB 西さん、長い間デジビータを運用して下さったJA3BTW 前川さん、主にハードウェアの提供をして下さったJA3UB 三好さん、JA3USA 島本さん、JQ3EEL 島崎さん、JO3LZG 下津さん始めとするJ13ZAGメンバーに感謝します。

## International YL Meeting の思い出

### JR3MVF 三好京子

1993年4月、桜が満開の大阪で第2回 International YL meeting (Asia YL meeting 93 in Osaka) を大阪国際交流センターで開催しました。世界の14カ国、そして日本の各地より約100

名のハムが大阪に集まり親睦を深めました。

開催の1年以上前に準備を始め、当初からラジオクラブのメンバーがあらゆる場面でバックアップしてくださいました。同時に当時のアイハウス支配人をはじめ事務局の木下さんなど多くの事務局の方々にお世話になりました。このクラブのメンバーが裏で支えてくださったから大成功裏にこの催しが実施できたと感謝しています。当時事務局の方が「本当に自分達だけで開催されたのですね!」の言葉は今でも印象に残っています。あれから10年目、桜のシーズンになると楽しい思い出が甦ってきます。世界のあちこちから参加した多くの女性にとってはじめての日本への旅



その友好関係が続いています。来年の秋には第10回目のInternational YL meetingが韓国で開催されます。大阪に多勢で参加してくれた韓国の女性ハム達

が「10年後には韓国でも、このような素敵な国際ミーティングを開きたい!」と目を輝かせて話していました。"そのときは貴方達が是非協

力してね!"と言ったことが忘れられません。来秋に楽しい催しが韓国で開かれるのを楽しみにしながら・・・また多くのアイハウスラジオクラブの皆さまのボランティア精神に感謝しながら.....

73 & 88

	RBBS	J13ZAG	
ID	Node ZAG	J13ZAG-9	
	IP	44.129.30.43	
	DOMAIN	ji3zag.ampr.org	
Port	21.1011MHz	300bps DRSI 100W 3ele	
	1298.66MHz	1200bps DRSI 10W GP	
	431.22MHz	1200bps KPC2 10W GP	
	※ 430Mのポートは1200MHz伝播状態悪化のための仮設ポートです。		
System	OS	Linux version 2.2.23	
	AX.25	version 2.1.42a by G4KLX	
	RBBS	PBL version 2.0 by JA3PYC	
転送先	日本	UHF: JA3PYC, JM3DUR HF: JG8DYF	
	海外	HF1	BY4BHP, DU1QKU, DU9XA, YB7ZX, YC5BX, DU1AC, DU3XAN, DU8UTC, DU9LRC,
		HF2	DX2TR, YC1DYY, YC4JBV, YC1JL
		HF3	HS0ZDZ, 9V2VS



### 電波利用保護旬間

#### 街頭キャンペーンに参加して

JA3AER 荒川 泰蔵

当クラブの会員の幾人かが「電波適正利用推進員」として活躍しておられますが、去る6月9日に近畿総合通信局主催の「電波利用保護旬間6月期街頭キャンペーン」に協力して、電波適正利用推進員がJR大阪駅前にてパンフレット「みんなの迷惑不法電波を追放しよう!」を配布しました。今回は当クラブからJA3AA 島さんと私の2人だけでしたが、私にとっては初めてで、差し出したパンフレットを受け取ってもらえず、よけて通られるときのバツの悪さを経験しました。掲示していた「のぼり(旗)」の「電波」という文字を見たので相談に

乗ってほしいと近づいてきた70歳前後と見受けられる上品なご婦人の話を、パンフレット配布の手を止めて、島さんと共に根気良く聞く羽目になりました。彼女の話は「マンションに住んでいるが、上階の住民が電波を使って私の居場所を探知しており、部屋の中の移動を逐一話しているのが聞える」というものです。そして「その電波を使って私のTVをコントロールし、冷蔵庫を故障させたばかりか、私の心臓の心拍にも異常をきたすように仕掛けてきたので調べて欲しい」というものでした。もうこれには適当な回答も思い浮かばず、ただ「そうですか、困りましたね」と言いながら根気良く聞くより他に方法がありませんでした。最後に「聞いて頂いただけでも気分が楽になっ

た」と丁寧なお礼を言って立ち去りました。彼女にとって「電波」は何なのか考えさせられる瞬間でしたが、我々の常識での有用な「電波」を、一般の人々に正しく認識させる難しさとともに、その啓蒙の重要性を改めて思い知らされる、良い経験になりました。この種の「電波相談」に経験の深い島さんも「こんな話して笑う人もあると思いますが、相談に来られたご本人にすれば実際に悩み抜いておられることですから何らかの解決策があれば良いのですが。このような悩みを持っておられる人は随分とおられるように思います。精神に異常を来しているのではないかと言う前に何か対処法がないかと考えさせられる」と話しておられました。



大阪国際交流センターラジオクラブ  
**JI3ZAG**

**I-house Radio Club members**

JA3AA, JA3IG, JA3UB, JA3AER, JA3AOP,  
JA3DAU, JA3DYU, JA3FGN, JA3HRV, JA3NHL,  
JA3PYC, JA3TXZ, JA3TYF, JA3USA, JH3AHQ,  
JH3GAH, JH3GRE, JH3PYE, JR3IXB, JR3MVF,  
JE3XGD, JE3XSE, JK3IYB, JO3LZG, JP3AZA,  
JS3GWA, JR5JRK, BV7FA

Web: <http://ja3.net/ihouse>

**Newsletter**

[http://www.ja3.net/ji3zag\\_nl](http://www.ja3.net/ji3zag_nl)  
会報を自由にダウンロードすることができます

**ロールコール**

毎週土曜日 9:00JST @14.160MHz

**月例会**

大阪国際交流センター  
毎月第2金曜日



**関西アマチュア無線フェスティバルに出展** 会長 JA3AA 島伊三治

「関ハム 2003」は皆さまのご苦様のお陰で、当クラブの出展物をはじめ、諸々の行事は非常に高い評価を受け無事終了することが出来ました。厚くお礼を申し上げます。

50周年のパネル展示については、文句なしに多くの方から素晴らしいという賛辞が贈られていました。パネルの文字を懸命に写されている方もありました。JARLの徳島県が県内で、JARL九州地方本部が2月の西日本ハムフェアで展示したいので借用したいと申し出がありました。当クラブの力作が更に国内のあちこちで展示されお役に立つことは嬉しいことです。

ファミリー電波教室は材料の準備等に大変ご苦労をお掛けしましたが受講者は、子ども14名、大人26名の40名、これに加えて近畿総通局の私設第2課長は、実験を興味深げに見学されていました。その他、蝶野近畿総合通信局長、監視第1課長、JARL原会長も見学、報道関係は、電波タイムズ2名、CQ誌編集長、推進員は11名と非常に盛況でした。ラジオクラブの展示コーナーで運用いたしました8N3DNPもQSO数約400局とかで、ハンディ機の運用と思えぬ成果をあげています。各局のご協力本當に有り難うございました。心よりお礼申し上げます。

**編集後記** JA3AER 荒川泰蔵

第1号はともかく第2号の原稿は果たしてどうなるかと心配していましたが、督促するまでもなく会員の皆さんから投稿頂き安心しました。今回は記事をレイアウトし発行して下さるJA3USA島本さんが、ドイツで開かれる「HAM RADIO」に出かけられるということで、少々早めに締め切りましたのでご了承ください。第1号は写真を含むレイアウトが秀逸で、素晴らしいと多くの方々からコメントを頂きましたが、この継続には会員からの原稿が途切れないことが必要です。原稿は随時受け付けておりますので奮って投稿をお願い致します。

